



**PATENT APPLICATION**

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re application of

Docket No: Q77102

Daisuke TAKAHASHI

Appln. No.: 10/657,185

Group Art Unit: 2652

Confirmation No.: 1632

Examiner: not yet assigned

Filed: September 09, 2003

For: MAGNETIC TAPE CARTRIDGE

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

Submitted herewith is one (1) certified copy of the priority document on which a claim to priority was made under 35 U.S.C. § 119. The Examiner is respectfully requested to acknowledge receipt of said priority document.

Respectfully submitted,

*Darryl Mexic Aug 38, 2004*

(4)

Darryl Mexic  
Registration No. 23,063

SUGHRUE MION, PLLC  
Telephone: (202) 293-7060  
Facsimile: (202) 293-7860

WASHINGTON OFFICE  
**23373**  
CUSTOMER NUMBER

Enclosures: Japan 2002-265584

Date: January 30, 2004

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2002年9月11日

Daisuke TAKAHASHI  
MAGNETIC TAPE CARTRIDGE  
Darryl Mexic  
September 9, 2003  
1 of 1

Q77102

202-293-7060

出願番号  
Application Number:

特願2002-265584

[ST. 10/C] : [JP2002-265584]

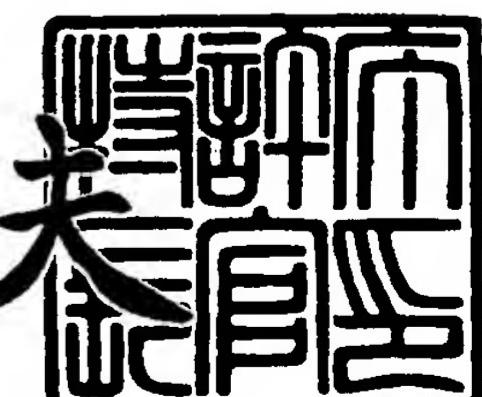
出願人  
Applicant(s):

富士写真フィルム株式会社

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

2003年9月19日

今井康



【書類名】 特許願  
【整理番号】 P-42406  
【提出日】 平成14年 9月11日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G11B 23/087  
【発明者】  
【住所又は居所】 神奈川県小田原市扇町2丁目12番1号 富士写真フィルム株式会社内  
【氏名】 高橋 大助  
【特許出願人】  
【識別番号】 000005201  
【氏名又は名称】 富士写真フィルム株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100105647  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 小栗 昌平  
【電話番号】 03-5561-3990  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100105474  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 本多 弘徳  
【電話番号】 03-5561-3990  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100108589  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 市川 利光  
【電話番号】 03-5561-3990

## ・【選任した代理人】

【識別番号】 100115107

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 猛

【電話番号】 03-5561-3990

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100090343

## 【弁理士】

【氏名又は名称】 栗宇 百合子

【電話番号】 03-5561-3990

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 092740

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0003489

## 【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 磁気テープカートリッジ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 磁気テープを巻装した单一のリールがカートリッジケース内に回転可能に収容され、前記磁気テープの先端部に固着されたテープ引出し用リーダーピンが前記ケース内に着脱可能に保持されて成る磁気テープカートリッジにおいて、テープの張力を吸收する張力吸収装置を前記リーダーピン保持部内側に設けたことを特徴とする磁気テープカートリッジ。

【請求項 2】 前記張力吸収装置が磁気テープの張力を吸収する方向にバネ付勢したアームからなるものであることを特徴とする請求項 1 記載の磁気テープカートリッジ。

【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、磁気テープを巻装した单一のリールがカートリッジケース内に回転可能に収容されてなる磁気テープカートリッジに関し、特に、磁気テープの張力変動の吸収に関するものである。

#### 【0002】

【従来の技術】

従来、コンピュータ等の外部記憶装置に用いられる記録媒体として使用されている磁気テープカートリッジとして、磁気テープを巻装した单一のリールが回転可能にカートリッジケース内に収容されたタイプのものが知られている。

このような单一のリールのタイプは、外部記憶装置にセットされると、リールに巻装された磁気テープが、外部記憶装置側のドライブ機構によってケースから引き出されて、当該外部記憶装置の磁気記録部で情報の記録が行われ、または既に記録された情報が再生部で読み出され、これらの目的を終了した後はテープはリールに巻き戻されてケース内に再び収容されるように構成されている。

そして、磁気テープの引出し側の先端部である自由端部には、記憶装置のドライブ機構がテープをカートリッジケースからスムーズに引き出し、記録部や再生

部等を含むテープ走行経路にテープを導入するすためにリーダーピンが固着されている。記憶装置のドライブ機構はこのリーダーピン把持してテープを記憶装置内に引き回して所定のテープ走行路にセットする。

#### 【0003】

図5はこのような磁気テープカートリッジの一例を示す従来公知の分解斜視図である。図5において、磁気テープカートリッジ10は、上ケース20と下ケース30とが締結されるカートリッジケース内に、上リール41と下リール42とを結合して成る单一の供給リール40を回動自在に収容し、かつこの供給リール40に磁気テープ9を巻装して成るものである。

#### 【0004】

下リール42は外周に磁気テープ9が巻回される円筒状のリールハブ421と、このリールハブ421の下端外周から径方向に張り出したフランジ部422とを合成樹脂により一体成型したもので、リールハブ421の底部外面に、供給リール40を回転駆動するマグネット式回転駆動手段を接合させるためのリールプレート53が取付けられている。

また、リールハブ421の底部内面には、ブレーキボタン52に形成された制止用ギア52Aと係合して不使用時の回転を拘束する制止用ギア42Aが刻設されている。

さらに、リールハブ421には、磁気テープカートリッジ10を使用する外部記憶装置等の記録再生装置に設けられたドライブ解除スピンドルが挿通されて、ブレーキボタン52を上方へ移動させるための開口42Bが形成されている。

#### 【0005】

ブレーキボタン52は、リールハブ421と対向する側に前記制止用ギア52Aが形成されており、それとは反対側の面に、上ケース20に形成されたブレーキガイド突起（図示なし）が嵌合される嵌合溝52Bが形成されている。

そして、ブレーキボタン52はコイルバネ51により、図中下方に付勢された状態でリールハブ421内部に装着されており、ブレーキボタン52の制止用ギア52Aとリールハブ421の制止用ギア42Aとが咬み合って供給リール40の不使用時における回転が防止されている。

### 【0006】

一方、カートリッジ使用時は、記録再生装置のドライブ解除スピンドル（図示なし）がブレーキボタン52を押圧すると、ブレーキボタン52がコイルバネ51の付勢力に抗して図中上方へ移動し、これにより制止用ギア52Aと制止用ギア42Aの係合が解除され、供給リール40が回転自在とされる。

カートリッジケース10の一側壁には、磁気テープ9を引き出すための開口部32が形成されている。開口部32にはカートリッジケース10の側壁に平行な方向に移動可能なスライドドア31が取付けられている。スライドドア31はバネにより、開口部32を閉じる方向に付勢されている。

### 【0007】

また、長尺の磁気テープ9の一方の端部はリールハブ421に固着され、このリールハブ421に巻回された外周側の端部である自由端部には、記録再生装置のドライブ機構がテープ9をカートリッジケース10からスムーズに引き出し、記録再生装置の記録部や再生部等を含むテープ走行経路にテープ9を導入するためのリーダーピン80が固着されている。

### 【0008】

リーダーピン80はドライブ機構が把持しやすいように、また不用意に磁気テープがケースから引き出されないように、リーダーピン保持部（図6の81）にてケース内の一定の位置に係止されており、リーダーピン80の一部にはケース側に形成された保持部に保持される被保持部が形成されている。

### 【0009】

図6は図5のカートリッジケース10を装填した記録再生装置の機能を説明する概略平面図である。

磁気記録再生装置1はテープ9を巻き取る途中で情報がその上に書き込まれたり、そこから読み出されたりするもので、磁気テープ9を巻き付けて成る供給リール40を内蔵したカートリッジケース10の装填部2と、磁気テープ9を巻き取る空の巻取りリール6を内蔵する巻取部3と、読み取り／書き込みヘッド7と、磁気テープ9を所定の経路へ案内する多数のローラ8とから構成されている。

カートリッジケース10を装填部2に装填し、スタートさせると、磁気記録再

・生装置1のドライブ機構（図示なし）がリーダーピン80をリーダーピン保持部81から外してカートリッジケース10から引き出し、多数のローラ8の案内で、記録再生装置1の読み取り／書き込みヘッドを通過して巻取りリール6へと巻き取られる。この間読み取り／書き込みヘッド7の上で情報の読み取り／書き込みがなされる。

終了時は、この逆を辿って磁気テープ9は巻取りリール6からカートリッジケース10内に戻される。

### 【0010】

#### 【発明が解決しようとする課題】

ところがこのような従来の磁気記録再生装置においては、内部のテープ通過経路には、読み取り／書き込みヘッド7と多数のローラ8しかなくて、磁気テープの張力変動やバタツキを吸収する系が皆無であった。その理由は従来は磁気テープの張力変動など問題にならなかったからである。

ただ、磁気記録再生装置ではないが、カセットテープ製造装置において磁気テープの張力を調整するためのダンサーを設けたものは知られている（例えば、特許文献1参照。）。

### 【0011】

#### 【特許文献1】

特開平8-195063号

### 【0012】

図7は上記特許文献1記載の磁気テープ巻き取り装置における張力付勢の例を示す構成図である。これは、空のカセットテープに磁気テープを供給して磁気テープ入りカセットを製造するための磁気テープ巻き取り装置であって、供給リールに巻回された磁気テープ所謂パンケーキよりの磁気テープを所定の長さテープカセットのリールに巻き取るようにするもので、その際に磁気テープの張力を調整している。

図7において、70はこの磁気テープ巻き取り装置である。71は供給リール71aに磁気テープ72を巻回したパンケーキを示し、このパンケーキ71よりの磁気テープ72をこの磁気テープ72の通過した長さを計測する検尺ローラ7

・3を巡ると共にこの磁気テープ72の張力を調整するダンサー74を巡り、ガイドローラ75を介してテープカセット76のリールに巻き取っている。

検尺ローラ73とダンサー74との間の磁気テープ72の走行路に磁気テープ72を切断し、この磁気テープ72の切断部をテープカセット76のリールに設けられたリーダテープに接着するスプライス装置が図示してないが別途設けられている。

そこで、先ずパンケーキ71より磁気テープ72を引き出しスプライス装置により磁気テープ72の切断された先端とテープカセット76の一方のリールに設けられたリーダテープの先端とを接着テープにより接着し、その後、比較的高速で磁気テープ72をこのテープカセット76の一方のリールに巻き取る。この場合検尺ローラ73により磁気テープ72が所定の長さ通過したと計測されたときに磁気テープ72を停止し、その後スプライス装置により磁気テープ72を切断し、切断された方の磁気テープ72の先端をテープカセット76の他方のリールのリーダテープの先端に接着テープにより接着し、その後テープカセット76に巻き込み、1巻のテープカセット76の磁気テープ72の巻き取りを終了する。

以下これを順次繰り返し、磁気テープ72の巻き込まれたテープカセット76を量産するようにしている。

#### 【0013】

このように、この装置に用いられているダンサー74はテープカセット76へ巻き付ける際の磁気テープ72の張力を調整するものではあるが、テープカセット製造時の張力調整であって、使用時の記録系での磁気テープの張力調整ではない。

また、上記装置の磁気テープの張力吸収系は磁気テープの走行経路内に置かれたものであり、そのための設置スペースが必要であり、また磁気テープを張力吸収系へ巻回するための時間および手間が余計に必要となった。

#### 【0014】

このように製造時のテープの張力は特許文献1にあるものの、前述のように磁気記録再生装置におけるテープ通過経路には、磁気テープの張力変動やバタツキを吸収する系が無かったし、これの必要性を示唆するものも存在しなかった。従

・来は磁気テープの張力変動など問題にしなかつてある。

ところが本出願人は、高密度記録となるに至って記録面積が小さくなつてゆくので、その場合には張力変動が弊害となることに気づいたのである。

その場合のテープの張力吸収装置として、特許文献1に記載のものを採用しても、張力吸収装置設置用のスペースが別途必要となり、また磁気テープを張力吸収装置へ巻回するための時間および手間が必要となる欠点があった。

### 【0015】

本発明はこれらの欠点を解決するもので、本発明の課題は、磁気記録再生装置におけるテープ通過経路に、記録系での磁気テープの張力変動やバタツキがあつてもこれらを吸収するようにして、磁気テープの走行安定性を図ることができ、しかも張力吸収装置の設置スペースが別途必要とならず、従来の磁気記録再生装置がそのまま使って張力吸収ができ、しかも磁気テープを張力吸収装置へ巻回する時間および手間もかからない磁気テープカートリッジを提供することにある。

### 【0016】

#### 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1記載の磁気テープカートリッジの発明は、磁気テープを巻装した单一のリールがカートリッジケース内に回転可能に収容され、前記磁気テープの先端部に固着されたテープ引出し用リーダーピンが前記ケース内に着脱可能に保持されて成る磁気テープカートリッジにおいて、テープの張力を吸収する張力吸収装置を前記リーダーピン保持部内側に設けたことを特徴とする。

請求項2記載の発明は、請求項1記載の磁気テープカートリッジにおいて、前記張力吸収装置が磁気テープの張力を吸収する方向にバネ付勢したアームからなるものであることを特徴とする。

### 【0017】

#### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面に基づいて詳細に説明する。

図1は本発明の実施の形態にかかる磁気テープカートリッジの一例を示す分解斜視図である。なお、図1の符号で図5と同じ符号は同一物を指すため、説明は

省略する。磁気テープカートリッジ10は、上ケース22と下ケース30とが締結されるカートリッジケース内に、上リール41と下リール42とを結合して成る単一の供給リール40を回動自在に収容し、かつこの供給リール40に磁気テープ9を巻装して成るもので、カートリッジ使用時はスライドドア31のスライドにより開口部32が形成され、ここからリーダーピン80を記録再生装置のドライブ機構が引き出し、記録再生装置の記録部や再生部等を含むテープ走行経路にテープ9を導入する。

その開口部32近傍でリーダーピン80の保持部の内側には元々空きスペースがあり、この空きスペースに本発明による張力吸収装置100が設けられている。

カートリッジ使用時にリーダーピン80が引き出されると、磁気テープ9は張力吸収装置100による所定の張力付勢の下に磁気テープカートリッジ10から引き出されることとなるものの、磁気テープカートリッジ10は従来のものと同じサイズであるから、磁気記録再生装置は従来のものがそのまま使って、しかも張力吸収ができることとなる。

### 【0018】

図2は張力吸収装置の具体的構造の二例を説明する斜視図で、(a)は1ローラタイプ、(b)は2ローラタイプを表している。

(a)において、100は1ローラタイプの張力吸収装置で、コ字型レバー100aの一端を回転軸として、磁気テープカートリッジ10の下ケース30のリーダーピン80を保持しているリーダーピン保持部の内側近傍の空きスペースに旋回可能に固定し、他端にローラ100cを回転可能に取り付けている。そして、コ字型レバー100aの前記一端にコイルバネ100bを挿通し、その一端を下ケース30側に固定し、他端をコ字型レバー100aの中間アーム側に固定して、前記回転軸を中心として、コ字型レバー100aの先端のローラ100cを常時所定方向Fに付勢している。このローラ100cに磁気テープ9を接触させ所定角度方向を変えて通過させ、その先端のリーダーピン80をリーダーピン保持部に保持する。この状態で磁気テープ9はローラ100cの付勢方向と逆方向にローラ100cを戻すように作用し、釣り合ったところでローラ100cは保

持される。

### 【0019】

図2（b）は2ローラタイプの張力吸収装置を示す。

2ローラタイプの張力吸収装置101は2枚の上下にある平行板101e、101e'の間にローラ101aと101bを互いに平行に回転可能に取り付け、平行板101e、101e'の全体を貫通する中心軸101cを軸として下ケース30のリーダーピン保持部の内側近傍の空きスペースに旋回可能に固定している。そして、中心軸101cにコイルバネ101dを挿通し、その一端を中心軸101cに固定し、他端を平行板101eに固定して、前記回転軸を中心として、平行板101eを常時所定方向Fに付勢している。

このローラ101aと101bの間の磁気テープ9を図のようにこれらに接触させて通過させ、その先端のリーダーピン80をリーダーピン保持部に保持する。この状態で磁気テープ9はローラ101aと101bの付勢力と磁気テープ9の引張力の釣り合ったところで保持される。

### 【0020】

図3および図4は図2の磁気テープカートリッジ10を使用した記録再生装置の機能を説明する概略平面図で、図3は磁気テープカートリッジを装填したのみの状態、図4は磁気テープカートリッジからテープ走行経路にテープを導入引き回した状態を示す。

図3において、記録再生装置1に磁気テープカートリッジ10を装填した状態で、リーダーピン80はリーダーピン保持部81に保持されている。磁気テープ9は張力吸収装置100のコイルバネ付勢により磁気テープ9に一定の張力が与えられている。

### 【0021】

次に、図3のリーダーピン80をリーダーピン保持部81から外して、巻取りリール6へ巻き付けると、図4のように磁気テープカートリッジ10から磁気テープ9も走行経路にそって走行し巻取りリール6へ巻回される。この場合、本発明の張力吸収装置100のコイルバネ付勢により磁気テープ9に一定の張力を与え続けている。

- 今、何らかの拍子で、磁気テープ9の走行方向に対して垂直方向に張力が加わったりバタツキが生じると、その張力変動分等はローラ100cを押圧するよう作用するので、張力吸収装置100のコイルバネ100b（図2）を逆方向に付勢することで吸収されることとなり、磁気テープ9の走行安定性が確保されることとなる。

### 【0022】

以上のように、本発明によれば、磁気テープを巻装した单一のリールがカートリッジケース内に回転可能に収容され、前記磁気テープの先端部に固着されたテープ引出し用リーダーピンが前記ケース内に着脱可能に保持されて成る磁気テープカートリッジにおいて、テープの張力を吸収する張力吸収装置を前記リーダーピン保持部内側の従来の空きスペースに設けたことにより、従来の磁気記録再生装置がそのまま使って、しかも磁気テープの張力変動やバタツキを特別なスペースを必要とせずに吸収できるようになり、高密度記録が安定して行えるようになった。

### 【図面の簡単な説明】

#### 【図1】

本発明の実施の形態にかかる磁気テープカートリッジの一例を示す分解斜視図である。

#### 【図2】

張力吸収装置の具体的構造を説明する斜視図で、(a)は1ローラタイプ、(b)は2ローラタイプを表している。

#### 【図3】

図2の磁気テープカートリッジを装填した記録再生装置の機能を説明する概略平面図である。

#### 【図4】

図3の装填後、磁気テープカートリッジからテープ走行経路にテープを導入引き回した状態の記録再生装置の機能を説明する概略平面図である。

#### 【図5】

従来の磁気テープカートリッジの一例を示す分解斜視図である。

**【図6】**

図5の磁気テープカートリッジを装填した記録再生装置の機能を説明する概略平面図である。

**【図7】**

磁気テープ巻き取り装置における張力付勢の例を示す構成図である。

**【符号の説明】**

- 1 磁気記録再生装置
- 2 装填部
- 3 卷取部
- 6 卷取リール
- 7 読み取り／書き込みヘッド
- 8 ローラ (多数)
- 9 磁気テープ
- 10 磁気テープカートリッジ
- 20 上ケース
- 30 下ケース
- 31 スライドドア
- 32 開口部
- 40 単一の供給リール
- 41 上リール
- 42 下リール
- 42A、52A 制止用ギア
- 42B 開口
- 421 円筒状リールハブ
- 422 フランジ部
- 51 コイルバネ
- 52 ブレーキボタン
- 52A 制止用ギア
- 52B 嵌合溝

・53 リールプレート

80 リーダーピン

100 1ローラタイプの張力吸収装置

100a コ字型レバー

100b コイルバネ

100c ローラ

101 2ローラタイプの張力吸収装置

101e、e' 平行板

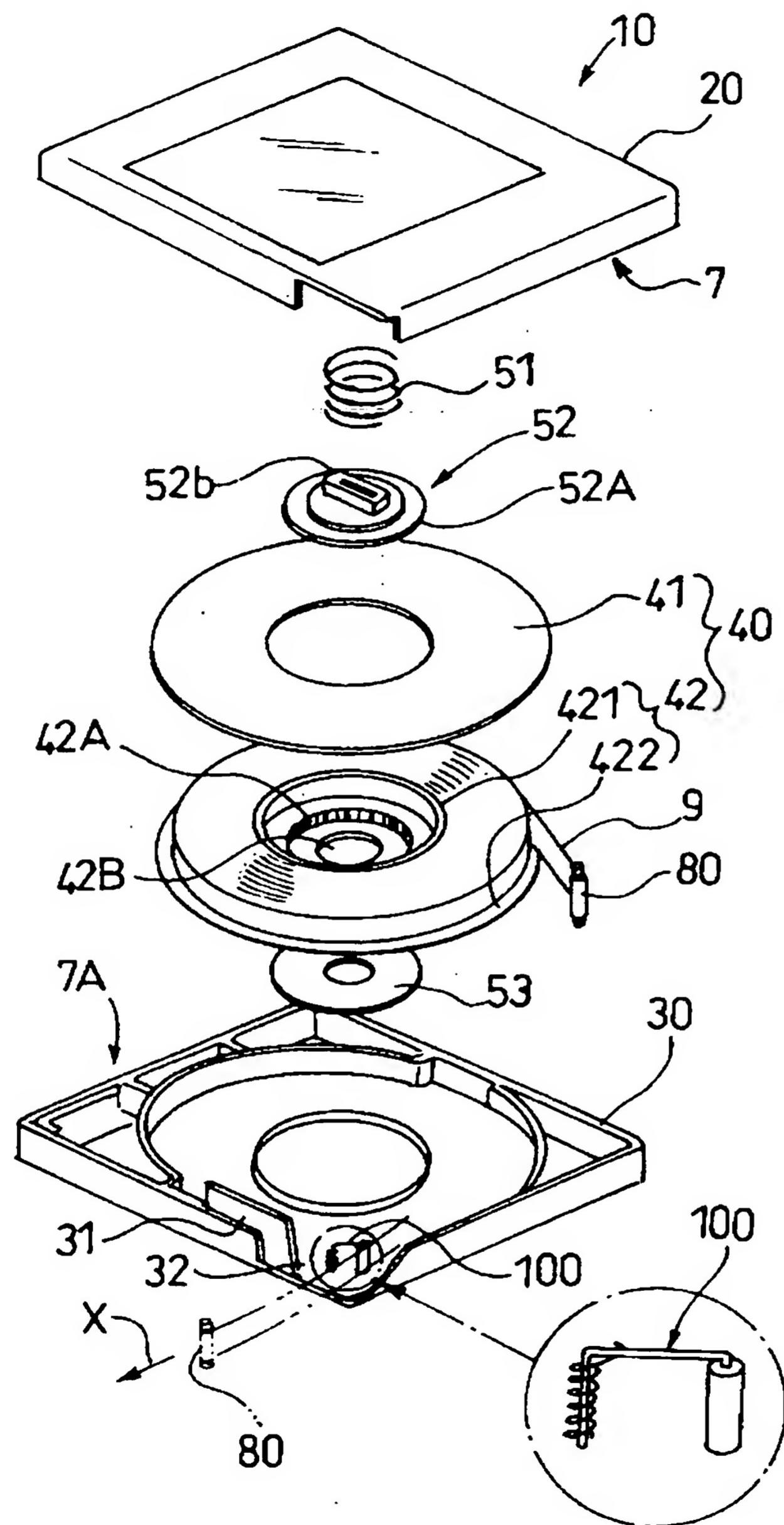
101a、101b ローラ

101c 中心軸

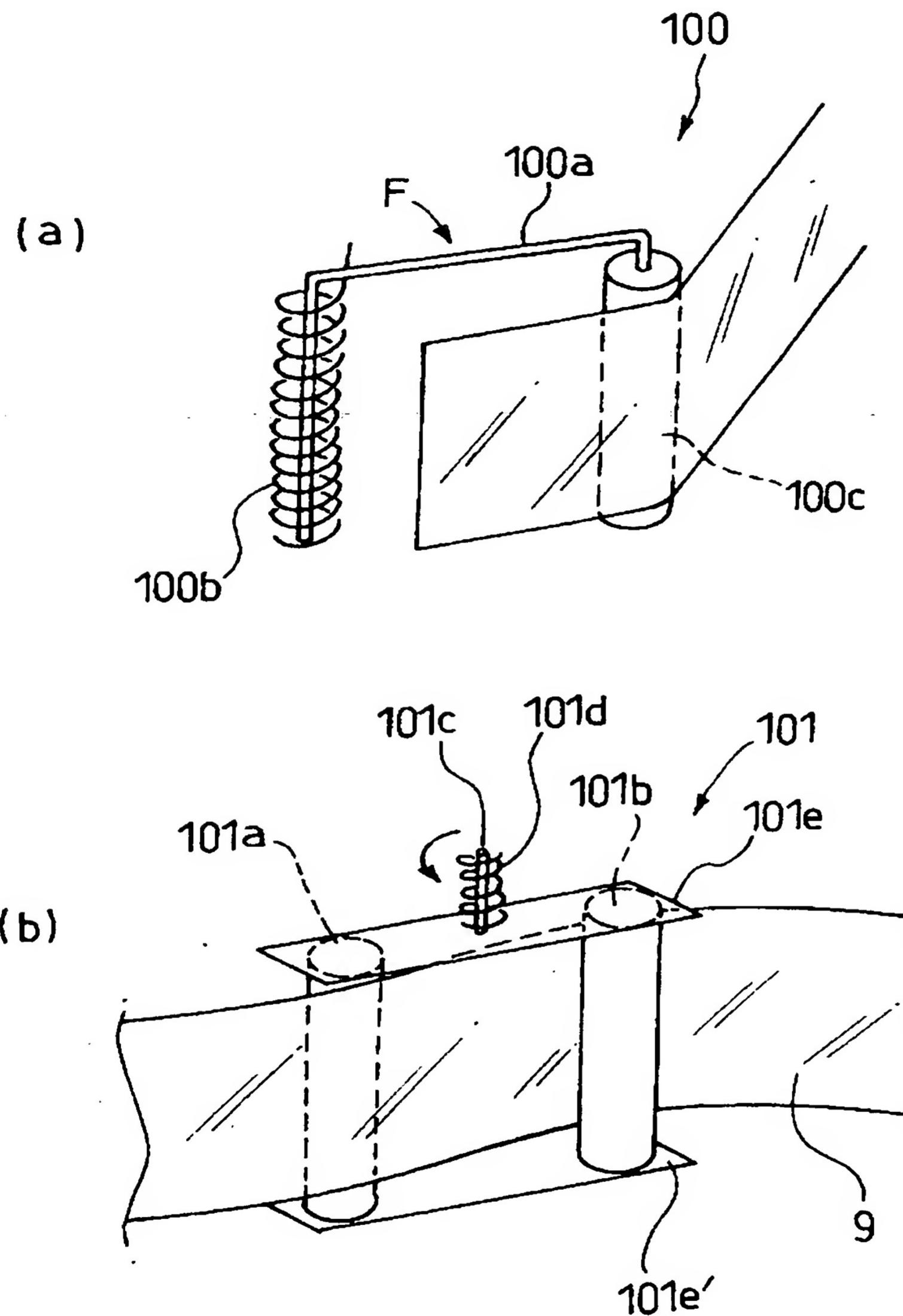
101d コイルバネ

【書類名】 図面

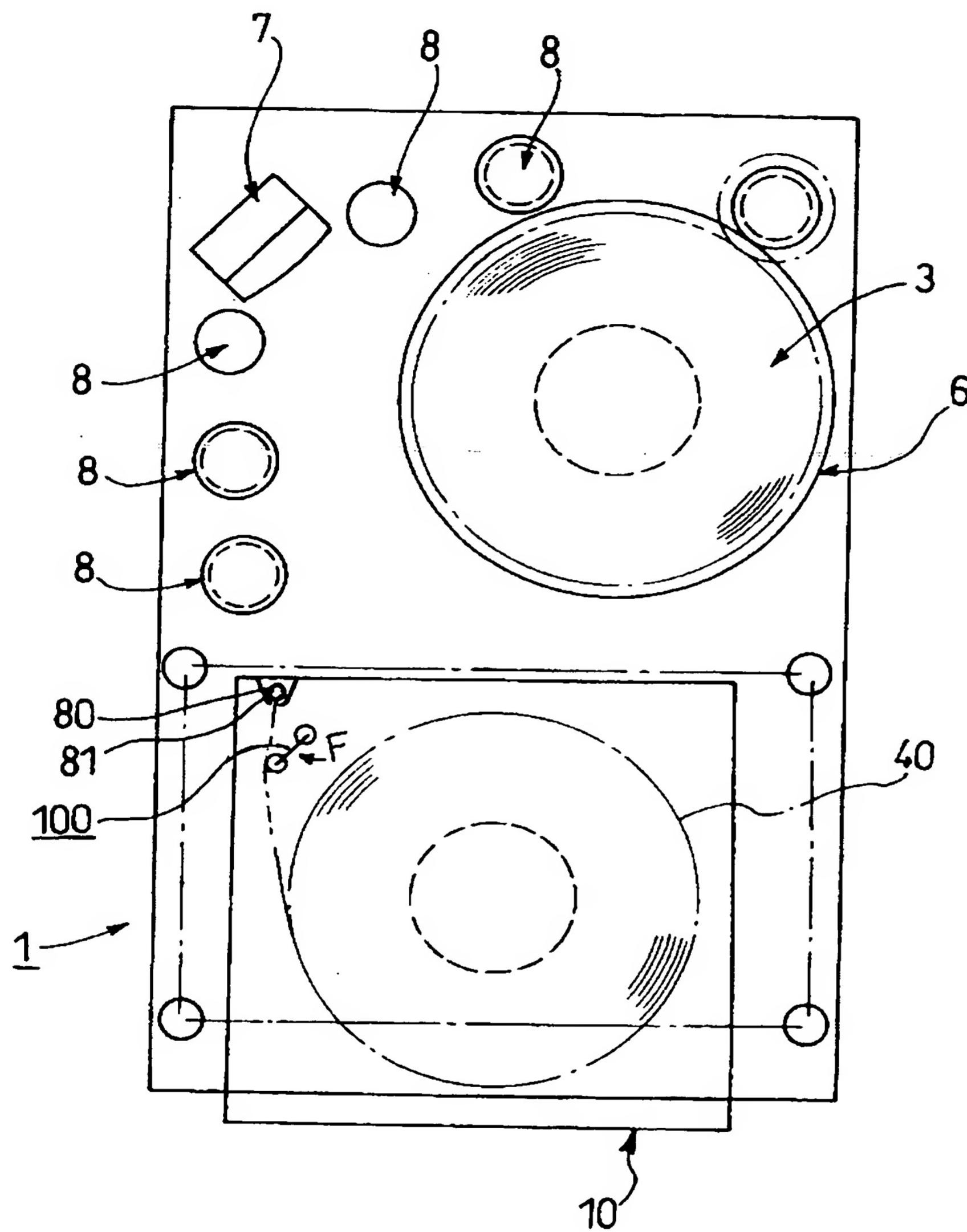
【図 1】



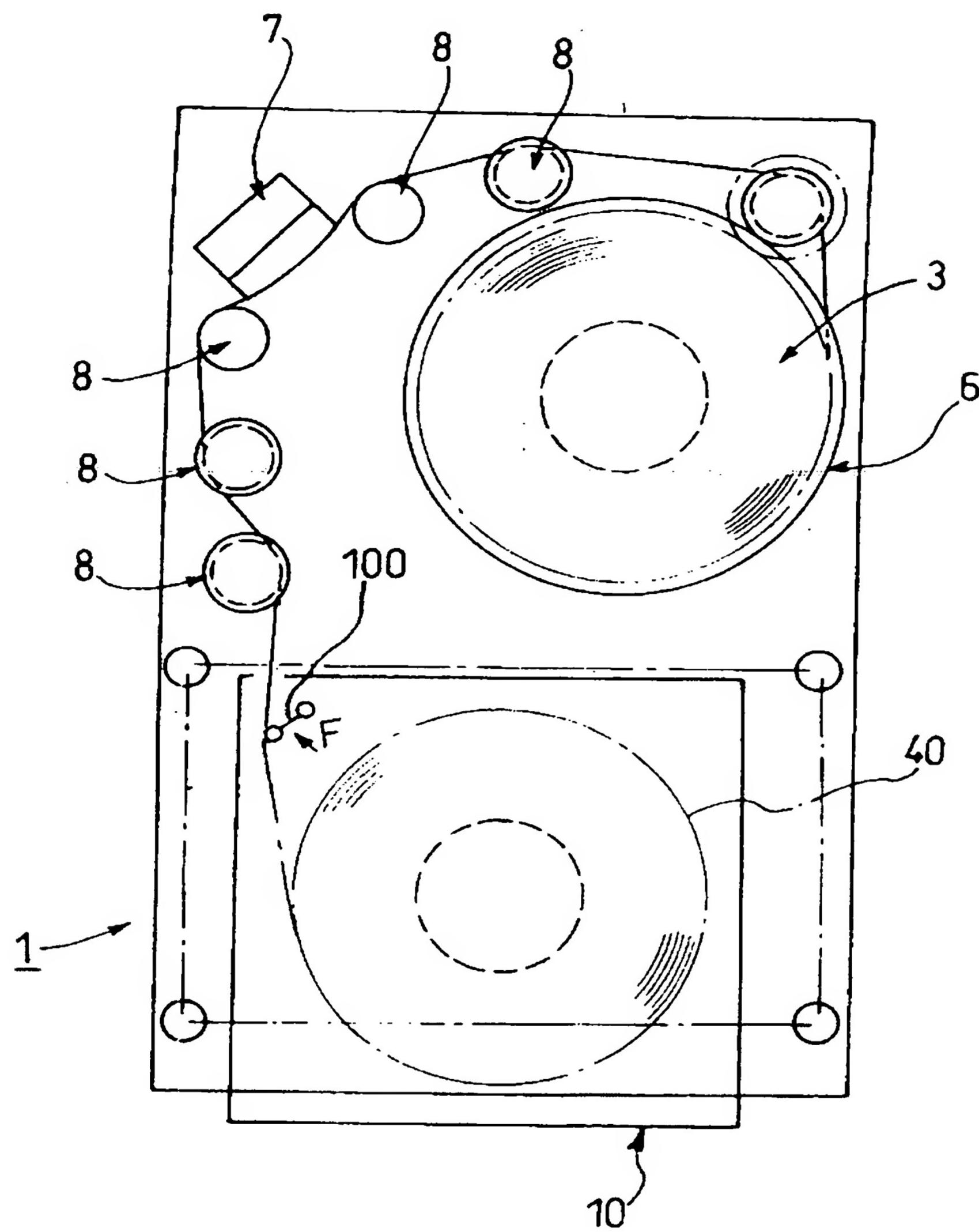
【図2】



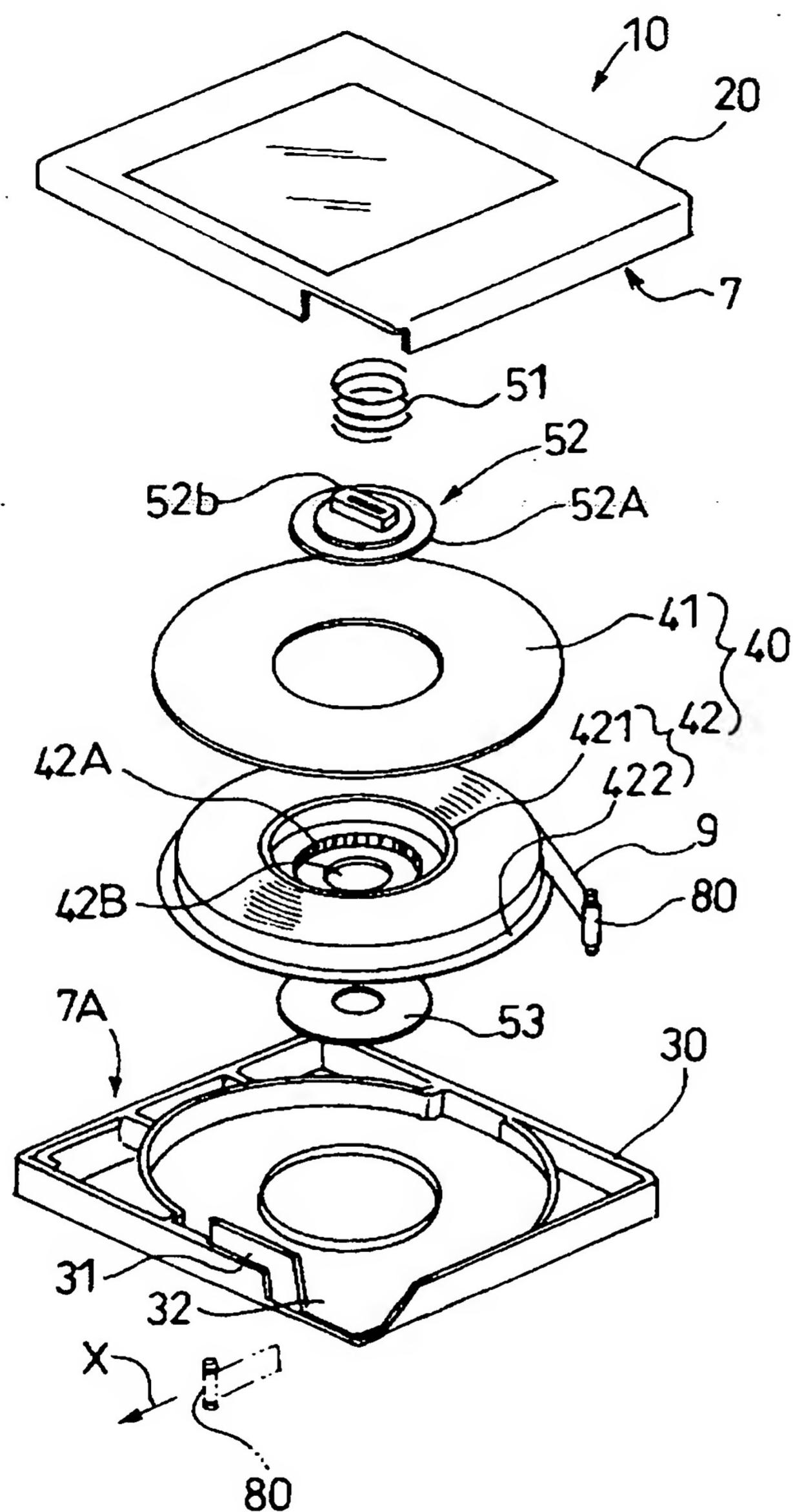
【図3】



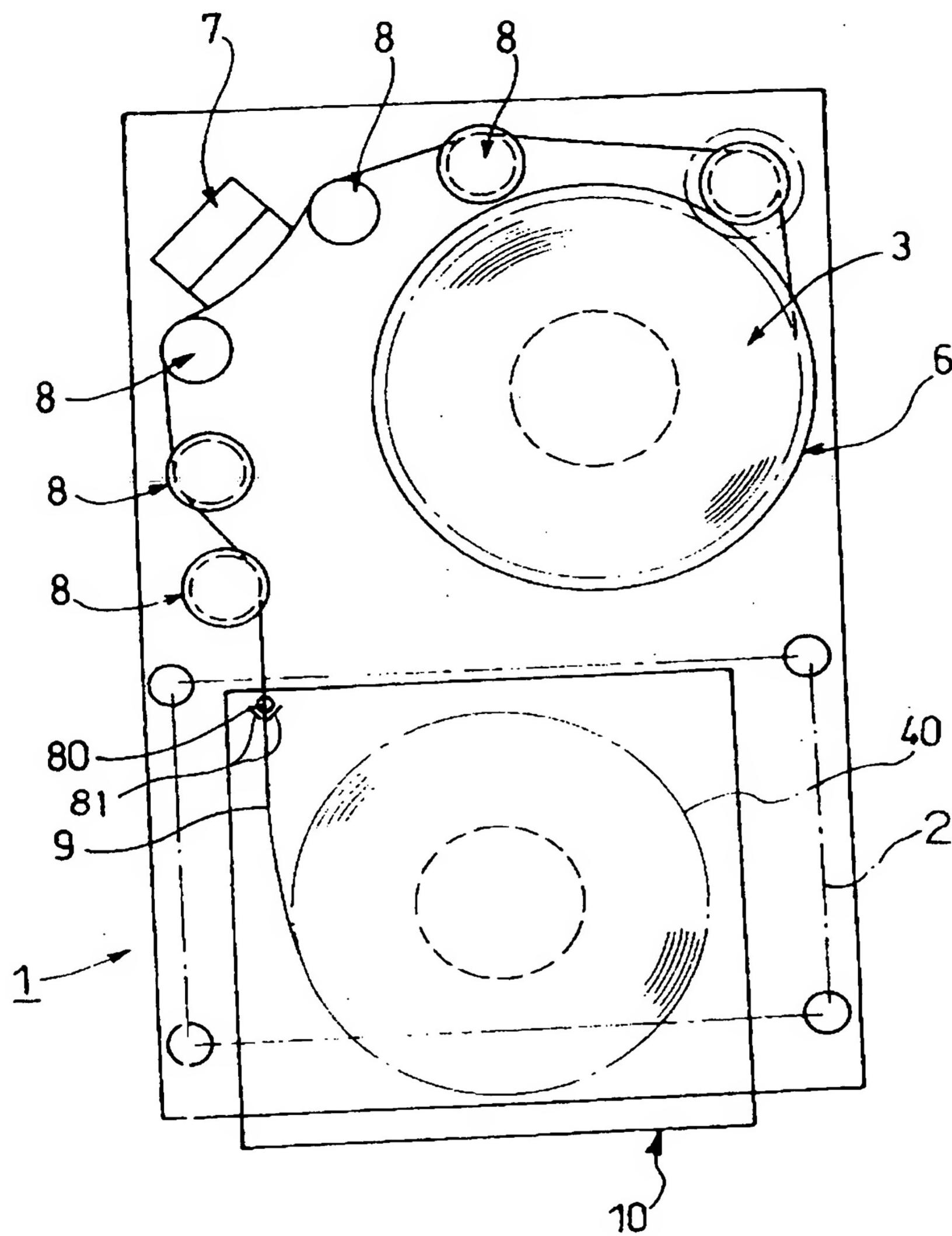
【図4】



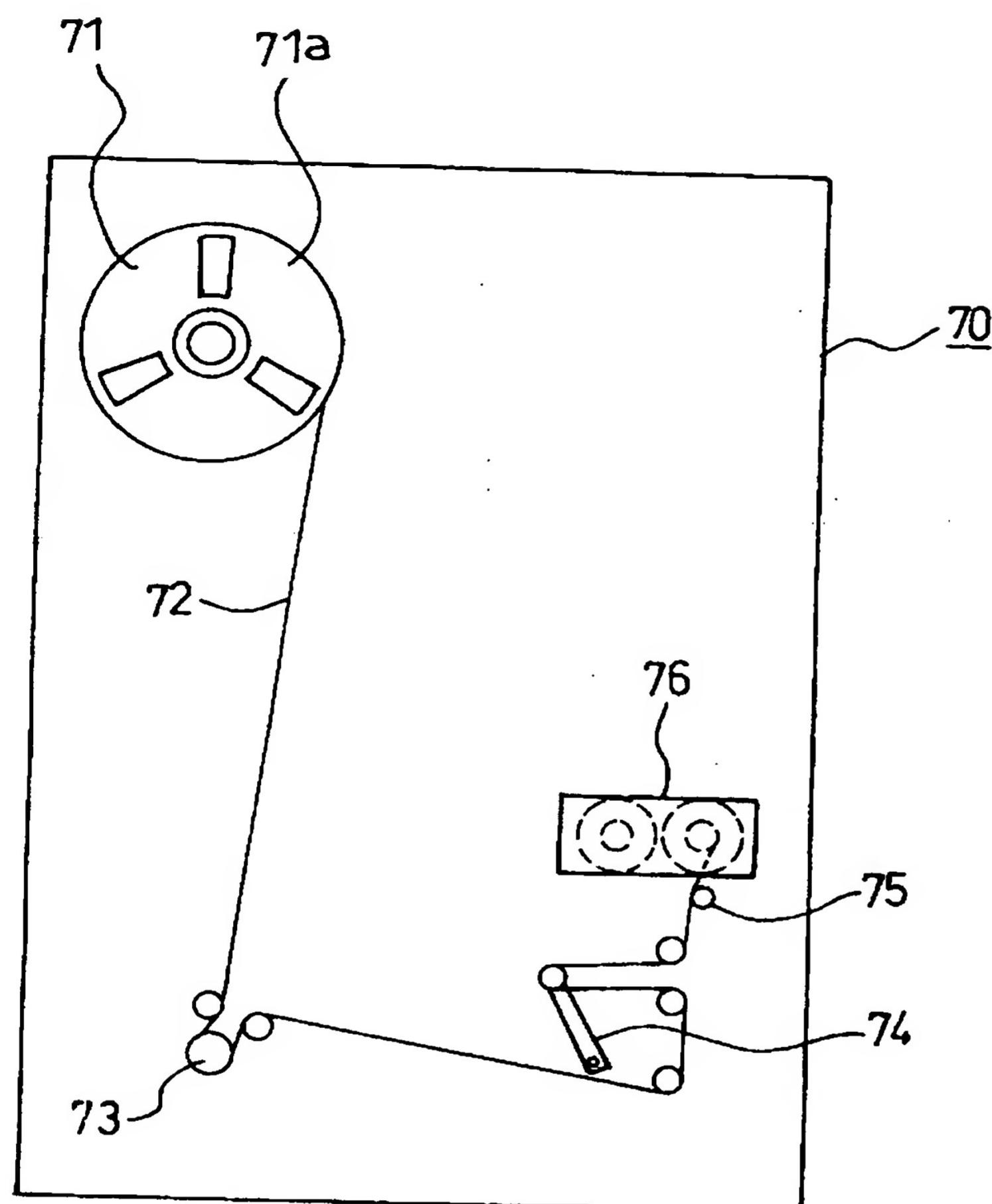
【図 5】



【図6】



【図7】



・【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 磁気記録再生装置における磁気テープの張力変動やバタツキを吸収し、高密度記録が安定して行えるカートリッジケースを提供する。

【解決手段】 磁気テープ9を巻装した单一のリール40がカートリッジケース20, 30内に回転可能に収容され、磁気テープ9の先端部に固着されたテープ引出し用リーダーピン80がケース10内に着脱可能に保持されて成る磁気テープカートリッジ10において、磁気テープ9の張力を吸収する張力吸収装置10をリーダーピン80の保持部の内側の空きスペースに設けた。

【選択図】 図1

特願 2002-265584

出願人履歴情報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地  
氏 名 富士写真フィルム株式会社